



PDA 即興型英語ディベート キーノートディベート（第 26 回）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2024 年 12 月 15 日（日）10:00-11:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：7 名（ディベーター 5 名、ジャッジ 1 名、見学 1 名）

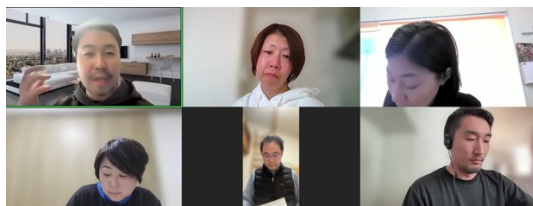
ディベートの様子

今月のキーノートスピーカーは、Institution for a Global society 株式会社の CEO であり、慶應大学と一橋大学の教授である、福原正大氏でした。キーノートスピーカーの紹介後はディベートの実践です。今月の論題は、“**From now on, we should use virtual currency (cryptocurrency) rather than cash or electronic money.**（これからは、現金や電子マネーよりも仮想通貨を使うべきである。）” と福原氏のご専門と関連のあるトピックでした。

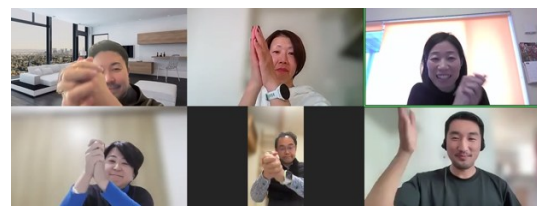


キーノートスピーカーの紹介

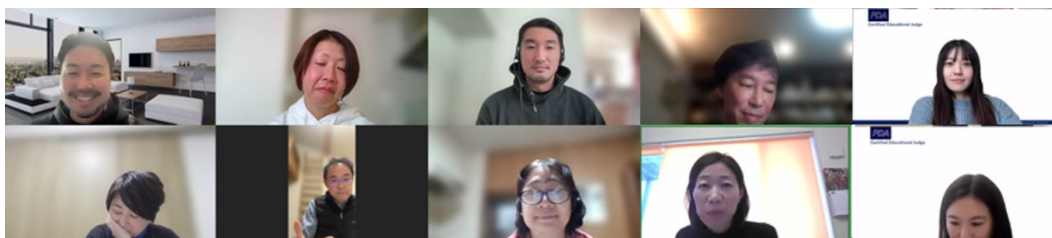
ディベートでは、人々が仮想通貨を使用することで、現金の利用にかかるコストを削減でき、経済が活性化すると述べる肯定側と、仮想通貨は比較的新しいため、リスクがあることを主張する否定側がそれぞれの特徴を分析しながら論を展開しました。ディベートが終わるとジャッジが勝敗や個人コメントを伝えました。



ディベートの様子



ディベート後は画面越しに握手します



ジャッジの様子

ジャッジによるフィードバックを終えると、今回の論題である仮想通貨について、福原正大氏よりご解説いただきました。仮想通貨そのものだけでなく、世界的に使用されている背景などについてもご紹介いただきました。

質疑応答では、仮想通貨の基本的な内容に加えて、「自国の通貨が信用できないために仮想通貨を利用したいと考える一方で、その政府が経済のために仮想通貨の使用を推奨するのは矛盾ではないか」というような国家の通貨政策に関する踏み込んだ質問にも、詳しく回答していただきました。



キーノートレクチャーの様子

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・仮想通貨や暗号通貨など普段あまり考えたこともなく、知識もなかったので、良い勉強機会になりました。このキーノートダイアログは、ダイアログ実践だけでなく、各界の専門家の方々から講義を聴けるので、今毎月楽しみにしています。
- ・難しい論題で、かなり焦りましたが、こういったものを考えるきっかけにもなるので、改めてダイアログはいいなと思いました。本日はありがとうございました！
- ・普段あまり考えることのない話題について、知識を得ることができ、問題についても考えることができている機会となりました。ありがとうございました。
- ・福原先生のファンだったので、とても貴重な機会でした！素晴らしい人選、ありがとうございました！